



福岡市城南区梅林 2-11-9
陶芸工房フラクタル
TEL&FAX: 092-577-5769
http://www.yurasan.com



新年、おめでとうございます。今年馬年ということ、とりあえず走り回ると良いそうです。何も馬年だからって、それはないでしょう？という人もいますが、走り回って悪いことはありません。干支(えと)の縁起にドンと乗っかって、「同じ馬なら走らな損々」という事にし、今年には皆で突っ走りましょう。そうすると、ひつじ年の来年、ゆっくりできるそうです。フラクタル流も2年目に入り、どういふ情報を発信していこうかと模索中でありませう。今年トライしたい企画のひとつが、「陶器の街創り」です。

陶器の街の夢は広がる^^

全ての陶器の家を、底からLED電球を入れられるように創り、今年のクリスマスには町中が光り輝くところまで出来たらいいなと思つてます。

中心となる聖堂のどれかにオルゴールを仕掛けて、クリスマスソングを奏できるようにします。

さらに、皆さんの頭になにかいいアイデアが浮かびましたら是非聞かせて下さい。



陶器の街づくりに参加しませんか？
一年かかって継続的にみんなで楽しめるコトはないかな？と考へていて、思いついたのが皆で創る「陶器の街」です。工房の一角に左のような、街のベースとなるスペースを構えてみました。奥に置いているのは、ご存知「サグラダファミリア」もどき。この教会的な建物を中心に地中海沿岸をイメージできるような町並みがいいかなと思つてます。皆さん是非残り土などで楽しい家をドシドシ創って下さい



(連載その5) 由良作

タニシのテレポーション

この物語の主人公 タニシの「ゴンタ」も、ゾン爺の話信じ、瞬間移動のやり方の訓練を受けているひとりであった。

もちろん親には内緒である。なぜなら、ゾン爺から教わるコトは、母親たちの日頃の教えとはまったくの逆であったからだ。

「ここでは、いつもサッと動けるように体をキレイにしておけ！ タニシはこうあらねばならないという教えは全部忘れてしまえ！」という。

訓練は、天敵に目立たないように身体中に着けていた泥をキレイに洗い落とすことから始まる。なるほど、泥を落とすと体が軽くなってサッサと素早く動ける。

最初に習うのは、前転の受け身だった。ゾン爺が手に持つ杖をサギの口ばしに見立て

写真は原田さんが作った家々ですが、いい例になると思います。これらは既に分譲済みだそうで、また創ってもらわなくなっちゃ。 原田さんヨロシク~m()m



その杖の先で頭を突かれる寸前に前転・・・という動作を繰り返しやらされる。これは、実は転がって逃げるというより、「瞬間移動」の感覚を養う訓練であり、振り下ろされる杖のスピードは、だんだん速くなっていった。

(続く)